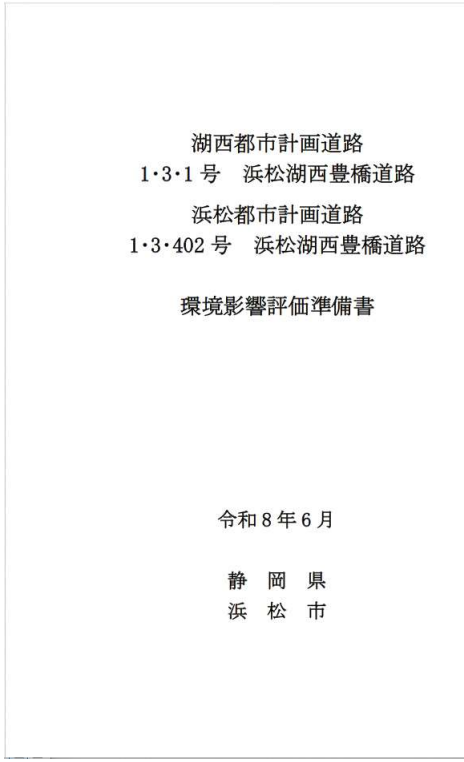
資料2

湖西都市計画道路 1･3･1号 浜松湖西豊橋道路
浜松都市計画道路 1･3･402号 浜松湖西豊橋道路

浜松湖西豊橋道路(静岡県区間)

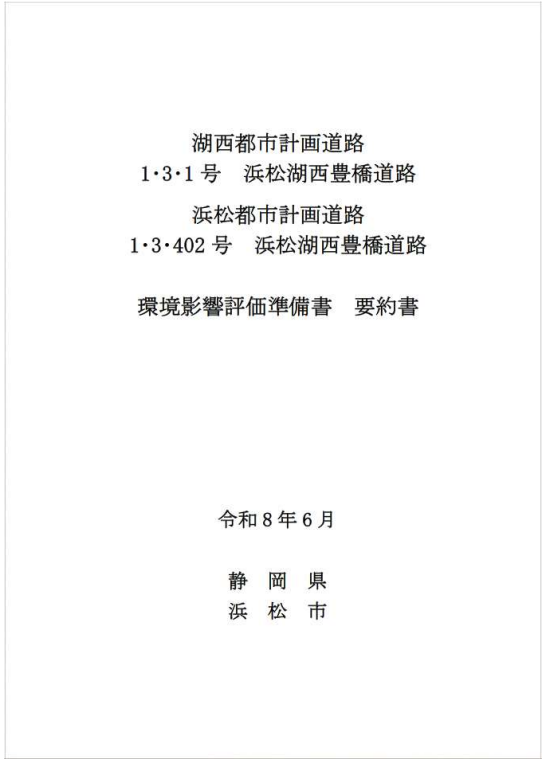
環境影響評価準備書


湖西都市計画道路
1･3･1 号　浜松湖西豊橋道路
浜松都市計画道路
1･3･402 号　浜松湖西豊橋道路

環境影響評価準備書

令和８年６月

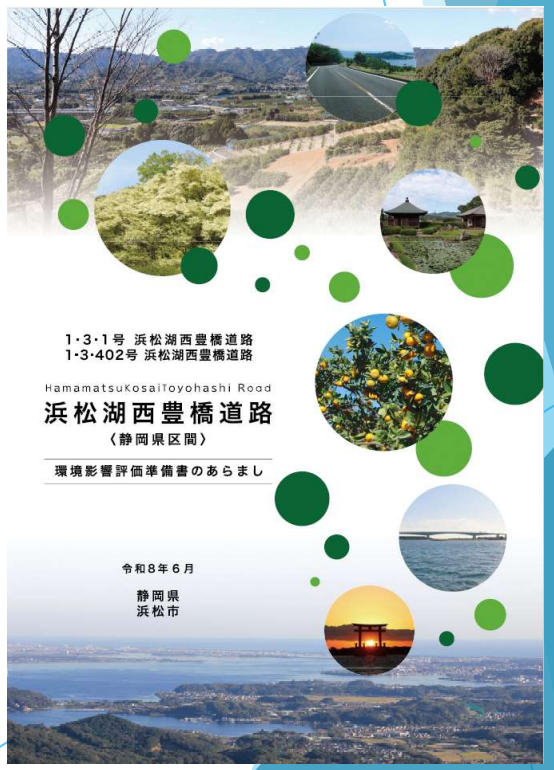
静　岡　県
浜　松　市


湖西都市計画道路
1･3･1 号　浜松湖西豊橋道路
浜松都市計画道路
1･3･402 号　浜松湖西豊橋道路

環境影響評価準備書　要約書

令和８年６月

静　岡　県
浜　松　市



説明内容

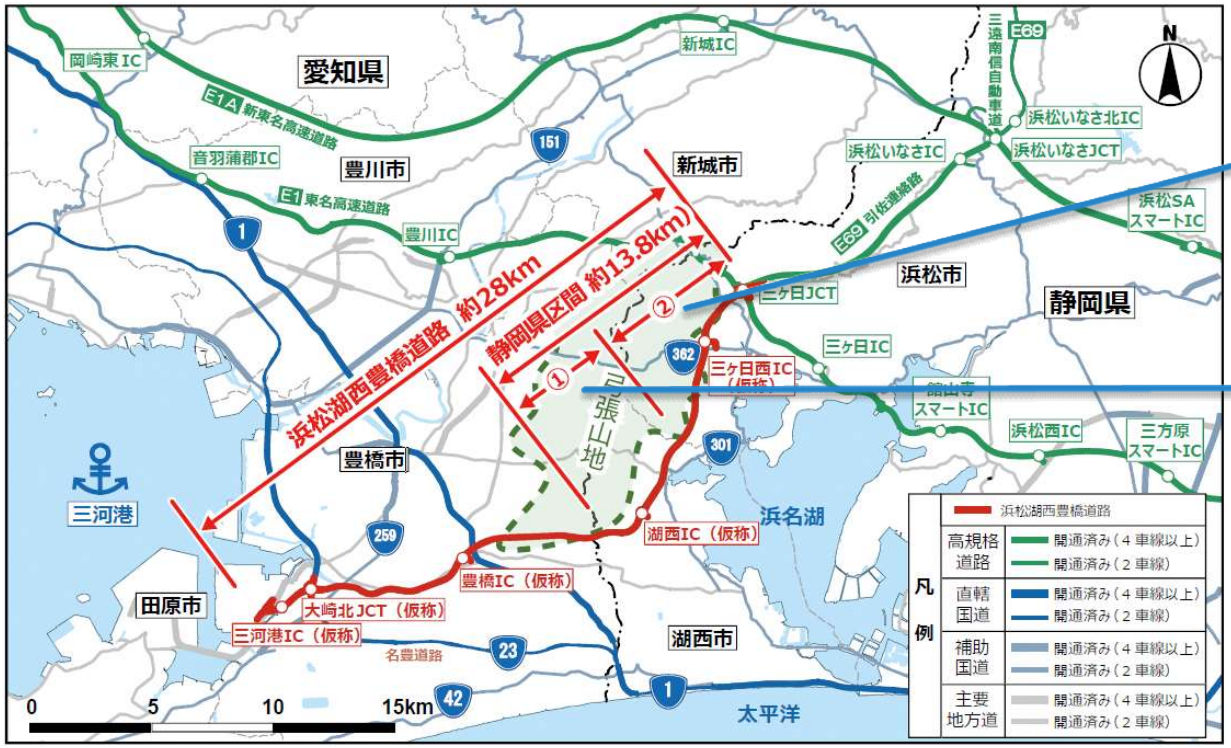
○事業概要

○環境影響評価準備書の内容について

- 環境保全への配慮事項
- 環境影響評価の項目
- 環境影響評価の結果の概要
- 事後調査
- 総合評価

浜松湖西豊橋道路について

- 浜松湖西豊橋道路は、静岡県浜松市浜名区と愛知県豊橋市を結ぶ延長約28kmの高規格道路（自動車専用道路）であり、三ヶ日ジャンクションと三河港地域を相互に連絡するとともに、東名高速道路及び新東名高速道路、三遠南信自動車道及び名豊道路（一般国道23 号）等と合わせて広域道路ネットワークを形成します。
- この道路のうち、静岡県区間である三ヶ日ジャンクションから静岡県・愛知県県境までの延長約13.8km を、必要な都市施設として都市計画に定めるにあたり、都市計画決定権者（静岡県、浜松市）が、都市計画の手続きとあわせて環境影響評価の手続きを行います。



【浜松市区間（浜松市）】
②浜松都市計画道路 1･3･402号
浜松湖西豊橋道路

【湖西市区間（静岡県）】
①湖西都市計画道路 1･3･1号
浜松湖西豊橋道路

事業の目的

◆ 本事業は、三遠地域（静岡県浜松市・湖西市、愛知県豊橋市・豊川市・田原市）内の交流を促進するとともに、地域内の物流交通の発展、災害リスクの改善及び観光エリアの連絡機能強化等に寄与する事を目的としています。

物流　速達性、定時性の向上による物流支援

三河港と高速道路 IC を結び時間短縮が見込まれ高速道路へのアクセス性が向上するとともに、市街地等の道路の渋滞等を回避し定時性に寄与します。



防災　災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送

津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造とすることで、大規模災害の影響を受けにくく、円滑な救援等の活動や支援物資の輸送の確実性に寄与します。



観光　広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進

豊橋・三河港地域と他の地域の主要な観光圏域の相互アクセス性の向上が見込まれ、観光地間の移動がしやすくなります。



事故　生活交通の安全な走行環境

現道の幹線道路や市街地からの大型車交通の削減が期待でき、物流交通と生活交通が分離されることで交通安全に寄与します。



都市計画対象道路事業の概要（事業特性）

パンフレットP2

●計画概要

都市計画対象道路事業の名称	①湖西都市計画道路 1･3･1号 浜松湖西豊橋道路
	②浜松都市計画道路 1･3･402号 浜松湖西豊橋道路
都市計画決定権者の名称	静岡県（湖西市区間）
	浜松市（浜松市区間）
都市計画対象道路事業の種類	高速自動車国道または一般国道（自動車専用道路）の新設
起終点	起点：静岡県浜松市浜名区三ヶ日町福長 終点：静岡県湖西市梅田
規模	延長：約13.8km
車線の数	4車線
設計速度	80km/h
道路区分	第１種第３級（自動車専用道路）

●インターチェンジ等

名称		連結施設
インターチェンジ（IC）	三ヶ日西IC（仮称）	一般国道362号
	湖西IC（仮称）	新規都市計画道路
ジャンクション（JCT）	三ヶ日JCT	東名高速道路、新東名高速道路（引佐連絡路）

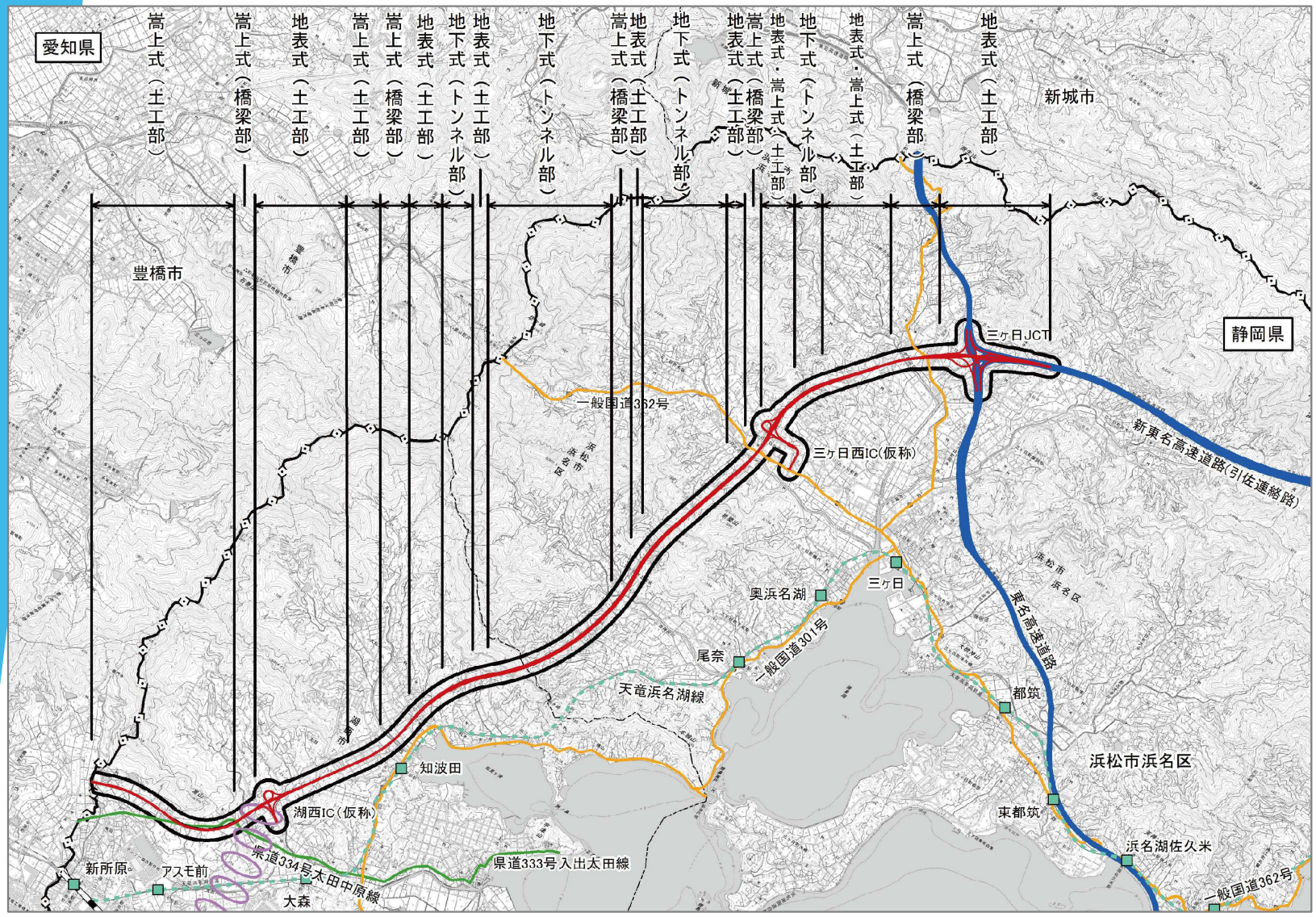
●計画交通量（令和 22 年）

区間	計画交通量（台/日）
三ヶ日JCT～三ヶ日西IC（仮称）	23,900
三ヶ日西IC（仮称）～湖西IC（仮称）	16,300
湖西IC（仮称）～豊橋IC（仮称）	11,200

都市計画対象道路事業の概要（事業特性）

パンフレットP3,4

都市計画対象道路事業実施区域　位置図



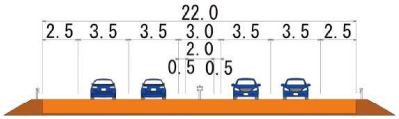
凡例

- 都市計画対象道路事業実施区域※
- 県境
- 市町村・行政区界
- 浜松湖西豊橋道路
- 新規都市計画道路
- 高速自動車道
- 主要道路
- 鉄道

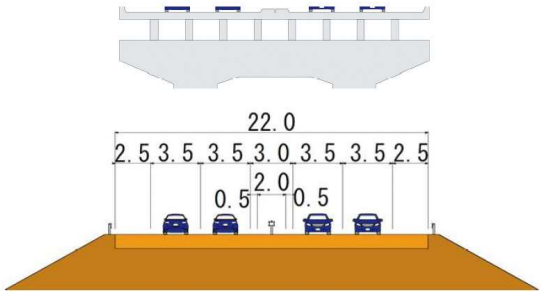
0　1　2　3 km

●構造の概要

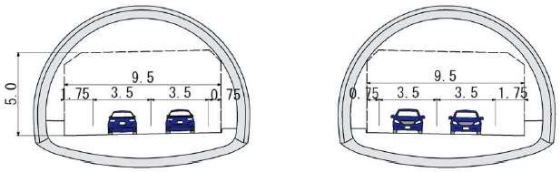
地表式（土工部）　［単位：m］



嵩上式（橋梁部・土工部）



地下式（トンネル部）



※当該事業により土地の形状の変更並びに工作物の新設及び増設が予想される概ねの範囲であり、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置が予想される概ねの範囲を含む区域。

説明内容

○事業概要と環境影響評価手続きの流れ

○環境影響評価準備書の内容について

- 環境保全への配慮事項
- 環境影響評価の項目
- 調査、予測及び評価の手法
- 環境影響評価の結果の概要
- 事後調査
- 総合評価

環境保全への配慮事項

パンフレットP7

- 対象道路の検討にあたっては、集落・市街地、重要な地形及び地質、動物や植物の重要な種、景観の保全上重要な箇所等への影響をできる限り回避しました。また、弓張山地は、自然環境への影響について極力回避を図りました。

- 工事用車両の運行ルートは、集落や市街地における生活道路の通過を避け、既存の幹線道路を極力利用するとともに、工事用車両の集中を避ける運行計画とします。

- 建設発生土の仮置きやトンネル排水等、工事の実施に伴って発生する濁水の影響を低減するために、沈砂池等の濁水処理施設で処理した後に公共用水域に放流することにより、水質への影響の低減に努めます。

ほか

環境影響評価の項目

◆ 環境影響評価の項目については、事業特性及び地域特性、知事等の意見を踏まえて以下の通り選定しました。

環境要素の区分 ＼ 影響要因の区分				工事の実施						土地又は工作物の存在及び供用			
				建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両（工事用車両）の運行	切土工等又は既存の工作物の除去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	掘削工事、トンネル工事の実施	道路（地表式）の存在	道路（高上式）の存在	道路（地下式）の存在	自動車の走行
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	○	○								○
			粉じん等	○	○								
		騒音	騒音	○	○								○
		振動	振動	○	○								○
		低周波音	低周波音										○
	水環境	水質	水の濁り				○						
		地下水の水位	地下水の水位						○			○	
		河川	河川の変化						○			○	
	土壌に係る環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				○			○			
		その他の環境要素	日照阻害								○		

○：選定した項目

注）この表は、国土交通省令、県条例などに基づき作成しています。

環境影響評価の項目

パンフレットP8

環境要素の区分 ＼ 影響要因の区分			工事の実施						土地又は工作物の存在及び供用			
			建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両（工事用車両）の運行	切土工等又は既存の工作物の除去	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置	掘削工事、トンネル工事の実施	道路（地表式）の存在	道路（嵩上式）の存在	道路（地下式）の存在	自動車の走行
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○			○		○	○		○	
	植物	重要な種及び群落				○		○	○		○	
	生態系	地域を特徴づける生態系	○			○		○	○		○	
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○			○			
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場				○			○			
	文化財					○				○		
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物			○							
	地球環境	温室効果ガス	○									

○：選定した項目

注）この表は、国土交通省令、県条例などに基づき作成しています。

環境影響評価の調査、予測及び評価の手法

準備書　第10章

○調査、予測及び評価の手法は、**国土交通省令に基づき、道路環境影響評価の技術手法（平成24・令和2年度版）に示される手法、並びに静岡県及び浜松市の環境影響評価指針**に示される手法を参考として、事業特性及び地域特性を踏まえて選定しました。

○騒音の予測モデルを最新版とした以外には、**方法書から手法の大きな変更はありません**。

環境要素の区分			調査の手法	予測の手法
大気環境	大気質	二酸化窒素・浮遊粒子状物質	既存資料調査、現地調査	プルーム式及びパフ式を用いた予測
		粉じん等	既存資料調査、現地調査	事例の引用又は解析により得られた経験式を用いた予測
	騒音	騒音	既存資料調査、現地調査	音の伝搬理論に基づく予測式を用いた予測（ASJ RTN-Model 2023）
	振動	振動	既存資料調査、現地調査	事例の引用又は解析により得られた振動の伝搬理論に基づく予測式および80%レンジの上端値を予測するための式を用いた予測
	低周波音	低周波音	現地調査	既存の調査結果より導かれた予測式を用いた予測
水環境	水質	水の濁り	既存資料調査、現地調査	類似事例を用いて推定もしくは計算による予測
	地下水の水位	地下水の水位		事例の引用又は理論的解析による予測
	河川	河川の変化		事例の引用又は理論的解析による予測
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質		土地の改変範囲と重要な地形及び地質の分布範囲を重ね合わせることによる予測
	地盤	地盤沈下（愛知側のみ）		理論モデルによる計算又は数値シミュレーションを用いた予測
その他の環境要素		日照阻害	既存資料調査、現地調査	日影図の作成による予測
動物		重要な種及び注目すべき生息地	既存資料調査、現地調査	科学的知見や類似事例を参考とした予測
植物		重要な種及び群落		
生態系		地域を特徴づける生態系		
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観と事業実施区域との重ね合わせフォトモンタージュ法等の視覚的な表現方法による予測
人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源と事業実施区域の重ね合わせによる予測
地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況（文化財）				地域の歴史的文化的特性を生かした環境（文化財）と事業実施区域の重ね合わせによる予測
廃棄物等	建設工事に伴う副産物		－	事業特性及び地域特性の情報を基にした予測
温室効果ガス等	温室効果ガス等		－	工事実施に伴い発生する温室効果ガスの発生状況を予測

評価の手法

①事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減、若しくは環境保全への配慮がなされているかについて見解を明らかにする

②法的な基準に適合しているか検討（※法令で評価基準又は目標が示されている場合）

環境影響評価の結果（全体）

準備書第11章、第12章、第13章

■環境影響評価の結果（１／２）

■大気質～日照阻害

- 建設機械の稼働に係る粉じん等、建設機械の稼働及び自動車の走行に係る騒音、地下水の水位、河川、日照阻害では、環境影響があると予測され、環境保全措置を検討しました。
- 地下水の水位、河川、地盤では、事後調査を実施することとしました。

環境要素の区分		影響要因の区分	予測結果		環境保全措置	評価結果	事後調査
			工事	存在・供用			
大気質	二酸化窒素・浮遊粒子状物質	工事(建設機械)	○	－	－	○	実施しない
		工事(工事用車両)	○	－	－	○	実施しない
		供用	－	○	－	○	実施しない
	粉じん等	工事(建設機械)	×	－	散水	○	実施しない
		工事(工事用車両)	×	－	工事用車両の洗車	○	実施しない
騒音		工事(建設機械)	×	－	防音シートなどの遮音対策（防音シート又は防音パネルの設置）	○	実施しない
		工事(工事用車両)	○	－	－	○	実施しない
		供用	－	×	遮音壁の設置	○	実施しない
振動		工事(建設機械)	○	－	－	○	実施しない
		工事(工事用車両)	○	－	－	○	実施しない
		供用	－	○	－	○	実施しない
低周波音	低周波音	供用	－	○	－	○	実施しない
水質	水の濁り	工事	○	－	－	○	実施しない
地下水の水位		工事／存在	×		観測修正法による最適な工法の採用	○	実施する
河川	河川の変化	工事／存在	×		トンネル湧水の河川及び水路への流入、観測修正法による最適な工法の採用	○	実施する
地形及び地質	重要な地形及び地質	工事／存在	○		－	○	実施しない
その他の環境要素	日照阻害	存在	－	×	高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫	○	実施しない

(凡例)
予測結果　○：影響がない又は極めて小さい　×：影響あり（基準超過など）
評価結果　○：環境の保全についての配慮が適正

環境影響評価の結果（全体）

準備書第11章、第12章、第13章

■環境影響評価の結果（２／２）

■動物～温室効果ガス
- 動物、植物、人と自然との触れ合いの活動の場、文化財、廃棄物等、地球環境では、環境影響があると予測され、環境保全措置を検討しました。
- 動物、植物では、事後調査を実施することとしました。

環境要素の区分		影響要因の区分	予測結果		環境保全措置	評価結果	事後調査
			工事	存在・供用			
動物		工事／存在	×		・改変の最小化 ・工事工程の配慮及び段階的な土地の改変（コンディショニング） ・人工代替巣の設置 ・個体の移殖	○	実施する
植物		工事／存在	×		・個体の監視 ・林縁保護	○	実施する
生態系		工事／存在	○		－	○	実施しない
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	工事／存在	○		－	○	実施しない
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	工事／存在	×		・構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討 ・地形改変部（法面含む）の緑化	○	実施しない
文化財		工事	×		文化財保護法に基づく適切な措置	○	実施しない
		存在	○		－		
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	工事	×	－	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	○	実施しない
地球環境	温室効果ガス	工事	×	－	・作業者に対する建設機械の省エネ運転の指導 ・作業者に対する工事用車両のエコドライブの指導	○	実施しない

(凡例)
予測結果　○：影響がない又は極めて小さい　　×：影響あり（基準超過など）
評価結果　○：環境の保全についての配慮が適正

環境影響評価の結果の概要（大気質）

建設機械の稼働

◆ 建設機械の稼働に係る二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。また、粉じん等は、環境保全措置として「散水」を実施することにより、参考となる値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)		粉じん等(t/km²/月)	
			日平均値の年間98%	基準又は目標	日平均値の年間2%除外値	基準又は目標	季節別降下 ばいじん量	参考 となる値
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	東側	0.0143	0.04から0.06までのゾーン内又はそれ以下	0.0285	0.10以下	3.3～6.6	10以下
2	浜松市浜名区 三ヶ日町平山	西側	0.0145		0.0286		0.7～2.5	
3	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側	0.0174		0.0288		0.9～2.8	
4	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾奈	東側	0.0137		0.0265		8.1～12.0 [2.2～3.3]	
5	湖西市大知波1	東側	0.0142		0.0264		2.2～3.8	
6	湖西市大知波2	東側	0.0143		0.0265		5.9～9.3	
7	湖西市神座1	東側	0.0145		0.0265		8.0～12.6 [2.2～3.4]	
8	湖西市神座2	西側	0.0142		0.0265		0.4～1.2	

※1 [ ] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。
※2 予測は、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び粉じん等の影響が最も大きい工種を対象としています。
※3 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した断面における工事敷地境界（道路敷地境界）の地上 1.5mとしました。

〔環境保全措置〕 散水

工事用車両の運行

◆ 工事用車両の運行に係る二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。また、粉じん等は、環境保全措置として「工事車両の洗車」を実施することにより、参考となる値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)		粉じん等(t/km²/月)	
			日平均値の年間98%	基準又は目標	日平均値の年間2%除外値	基準又は目標	季節別降下 ばいじん量	参考 となる値
1	浜松市浜名区 三ヶ日町福長	北側	0.0142	0.04 から 0.06 までのゾーン内又はそれ以下	0.0285	0.10以下	0.4～0.5	10以下
		南側	0.0142		0.0285		0.3～0.6	
2	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	北側	0.0146		0.0285		6.6～12.1 [0.3～0.6]	
		南側	0.0146		0.0285		2.9～8.7	
3	湖西市大知波	北側	0.0142		0.0264		4.6～5.8	
		南側	0.0142		0.0264		1.5～3.4	
4	湖西市神座	北側	0.0151		0.0265		14.4～36.8 [0.7～1.8]	
		南側	0.0148		0.0265		6.6～20.9 [0.3～1.0]	

※1 [ ] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。
※2 予測は、工事用車両の平均日交通量が最大になると予想される時期を対象としています。
※3 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した既存道路の断面における敷地境界（道路敷地境界）の地上 1.5mとしました。

〔環境保全措置〕 工事用車両の洗車

自動車の走行

◆ 自動車の走行に係る二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

番号	予測地点		二酸化窒素(ppm)		浮遊粒子状物質(mg/m³)	
			日平均値の年間98%	基準又は目標	日平均値の年間2%除外値	基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	西側	0.0141	0.04から0.06までのゾーン内　又はそれ以下	0.0285	0.10以下
		東側	0.0155		0.0286	
2	浜松市浜名区 三ヶ日町平山	西側	0.0140		0.0285	
		東側	0.0141		0.0285	
3	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側	0.0140		0.0285	
		東側	0.0167		0.0286	
4	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾奈	西側	0.0155		0.0284	
		東側	0.0140		0.0284	
5	湖西市大知波1	西側	0.0146		0.0284	
		東側	0.0154		0.0284	
6	湖西市大知波2	西側	0.0140		0.0284	
		東側	0.0141		0.0284	
7	湖西市神座1	西側	0.0148		0.0284	
		東側	0.0140		0.0284	
8	湖西市神座2	西側	0.0140		0.0284	
		東側	0.0141		0.0284	

※1 予測は、計画交通量の発生が見込まれる時期である令和 22 年としました。
※2 予測地点は、住居等の保全対象や道路構造、交通条件により選定した断面における敷地境界（道路敷地境界）の地上 1.5mとしました。

環境影響評価の結果の概要（騒音）

パンフレットP13

建設機械の稼働

◆ 建設機械の稼働に係る騒音は、環境保全措置として「防音シートなどの遮音対策」を実施することにより、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

［単位：dB］

番号	予測地点		騒音レベル（L_{A5}又は$L_{A,Fmax,5}$）	基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	東側	98[78]	85
2	浜松市浜名区 三ヶ日町平山	西側	91[82]	
3	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側	97[85]	
4	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾奈	東側	97[85]	
5	湖西市大知波1	東側	91[82]	
6	湖西市大知波2	東側	94[83]	
7	湖西市神座1	東側	93[82]	
8	湖西市神座2	西側	91[82]	

※1 [ ] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。
※2 予測は、騒音の影響が最も大きい工種を対象としています。
※3 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した断面における工事敷地境界（道路敷地境界）の地上 1.2mとしました。

〔環境保全措置〕

防音シートなどの遮音対策（防音シート又は防音パネルの設置）

工事用車両の運行

◆ 工事用車両の運行に係る騒音は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

［単位：dB］

番号	予測地点	現況値	騒音レベル（L_{Aeq}）	基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	64	64	70
2	浜松市浜名区三ヶ日町日比沢	66	67	
3	湖西市大知波	65	66	
4	湖西市神座	63	66	

※1 予測は、工事用車両の平均日交通量が最大になると予想される時期を対象としています。
※2 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した既存道路の断面における敷地境界（道路敷地境界）の地上 1.2mとしました。

環境影響評価の結果の概要（騒音）

自動車の走行(1/2)

◆ 自動車の走行に係る騒音は、環境保全措置として「遮音壁の設置」を実施することにより、基本又は目標となる値以下になると予測されます。

番号	予測地点			予測高さ（m）	道路敷地境界からの距離（m）	等価騒音レベル（L_{Aeq}）(dB) 昼間 予測評価	昼間 基準又は目標	夜間 予測評価	夜間 基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	西側	近接空間	4.2	0	63	70	61	65
				1.2	0	60		58	
			背後地	4.2	20	62	65	60	60
				1.2	20	62		60	
		東側	近接空間	4.2	0	66[63]	70	65[63]	65
				1.2	0	65[64]		64[62]	
			背後地	4.2	20	64[61]	65	62[59]	60
				1.2	20	64[59]		63[57]	
2	浜松市浜名区三ヶ日町平山	西側	近接空間	4.2	0	63	70	56	65
				1.2	0	62		55	
			背後地	4.2	20	63	65	56	60
				1.2	20	63		56	
		東側	近接空間	4.2	0	63	70	56	65
				1.2	0	62		55	
			背後地	4.2	20	63	65	56	60
				1.2	20	63		56	
3	浜松市浜名区三ヶ日町日比沢	西側	近接空間	4.2	0	68	70	62	65
				1.2	0	68		62	
			背後地	4.2	20	63	65	58	60
				1.2	20	61		55	
		東側	近接空間	4.2	0	69	70	63	65
				1.2	0	69		63	
			背後地	4.2	20	63	65	57	60
				1.2	20	60		54	
4	浜松市浜名区三ヶ日町上尾奈	西側	近接空間	4.2	0	59	70	52	65
				1.2	0	58		51	
			背後地	4.2	20	58	65	51	60
				1.2	20	57		50	
		東側	近接空間	4.2	0	57	70	50	65
				1.2	0	56		49	
			背後地	4.2	20	57	65	50	60
				1.2	20	56		49	

〔環境保全措置〕
遮音壁の設置

環境影響評価の結果の概要（騒音）

パンフレットP14

自動車の走行(2/2)

番号	予測地点			予測高さ（m）	道路敷地境界からの距離（m）	等価騒音レベル（L_{Aeq}）(dB) 昼間 予測評価	昼間 基準又は目標	夜間 予測評価	夜間 基準又は目標
5	湖西市大知波1	西側	近接空間	4.2	0	67[60]	70	60[53]	65
				1.2	0	64[58]		57[51]	
			背後地	4.2	20	66[60]	65	59[53]	60
				1.2	20	64[58]		57[51]	
		東側	近接空間	4.2	0	73[70]	70	66[63]	65
				1.2	0	68[60]		61[53]	
			背後地	4.2	20	69[61]	65	62[54]	60
				1.2	20	66[59]		59[52]	
6	湖西市大知波2	西側	近接空間	4.2	0	54	70	47	65
				1.2	0	54		47	
			背後地	4.2	20	54	65	47	60
				1.2	20	54		47	
		東側	近接空間	4.2	0	54	70	47	65
				1.2	0	54		47	
			背後地	4.2	20	54	65	47	60
				1.2	20	54		47	
7	湖西市神座1	西側	近接空間	4.2	0	57	70	53	65
				1.2	0	55		48	
			背後地	4.2	20	57	65	53	60
				1.2	20	54		48	
		東側	近接空間	4.2	0	56	70	48	65
				1.2	0	54		47	
			背後地	4.2	20	56	65	48	60
				1.2	20	54		47	
8	湖西市神座2	西側	近接空間	4.2	0	63	70	57	65
				1.2	0	61		55	
			背後地	4.2	20	63	65	57	60
				1.2	20	62		56	
		東側	近接空間	4.2	0	60	70	54	65
				1.2	0	59		53	
			背後地	4.2	20	60	65	54	60
				1.2	20	59		53	

※1 [ ] 内の数値は、環境保全措置を講じた値です。
※2 予測は、計画交通量の発生が見込まれる時期である令和 22 年としました
※3 予測地点は、住居等の保全対象や道路構造、交通条件により設定した断面における敷地境界（道路敷地境界）の 1 階（1.2m）及び 2 階（4.2m）高さとしました。

〔環境保全措置〕
遮音壁の設置

環境影響評価の結果の概要（振動）

建設機械の稼働

◆ 建設機械の稼働に係る振動は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

［単位：dB］

番号	予測地点		振動レベル（L_{10}）	基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	東側	58	75
2	浜松市浜名区 三ヶ日町平山	西側	63	
3	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側	63	
4	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾奈	東側	63	
5	湖西市大知波1	東側	63	
6	湖西市大知波2	東側	63	
7	湖西市神座1	東側	63	
8	湖西市神座2	西側	63	

※1 予測は、振動の影響が最も大きい工種を対象としています。
※2 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した断面における工事敷地境界（道路敷地境界）としました。

環境影響評価の結果の概要（振動）

工事用車両の運行

◆ 工事用車両の運行に係る振動は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

[単位：dB]

番号	予測地点	区域の区分	振動レベル（L_{10}）	基準又は目標
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	第1種区域	27	65
2	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢		33	
3	湖西市大知波		41	
4	湖西市神座		39	

※1 予測は、工事用車両の平均日交通量が最大になると予想される時期を対象としています。
※2 予測地点は、住居等の保全対象や工事計画により選定した既存道路の断面における敷地境界（道路敷地境界）としました。
※3 地域の区分がなされていない予測地点の基準又は目標には、当該地域の現地状況を勘案の上、第１種区域の基準値を設定しました。

環境影響評価の結果の概要（振動）

自動車の走行

◆ 自動車の走行に係る振動は、基準又は目標となる値以下になると予測されます。

［単位：dB］

番号	予測地点		区域の区分	振動レベル（L_{10}） 昼間 予測評価	昼間 基準又は目標	夜間 予測評価	夜間 基準又は目標
1	浜松市浜名区 三ヶ日町福長	西側	第1種区域	49	65	49	60
		東側		47		47	
2	浜松市浜名区 三ヶ日町平山	西側		37		37	
		東側		36		36	
3	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側		45		45	
		東側		45		45	
4	浜松市浜名区 三ヶ日町上尾奈	西側		44		44	
		東側		44		44	

［単位：dB］

番号	予測地点		区域の区分	振動レベル（L_{10}） 昼間 予測評価	昼間 基準又は目標	夜間 予測評価	夜間 基準又は目標
5	湖西市大知波1	西側	第1種区域	39	65	39	60
		東側		43		43	
6	湖西市大知波2	西側		45		45	
		東側		45		45	
7	湖西市神座1	西側		46		47	
		東側		46		47	
8	湖西市神座2	西側		42		43	
		東側		40		42	

※1 予測は、計画交通量の発生が見込まれる時期である令和 22 年としました。
※2 予測地点は、住居等の保全対象や道路構造、交通条件により設定した断面における敷地境界（道路敷地境界）としました。
※3 地域の区分がなされていない予測地点の基準又は目標には、当該地域の現地状況を勘案の上、第 1 種区域の基準値を設定しました。

環境影響評価の結果の概要（低周波音）

パンフレットP17

自動車の走行

◆ 自動車の走行に係る低周波音は、参考となる値以下になると予測されます。

[単位：dB]

番号	予測地点	1～80Hzの50%時間率音圧レベル（L_{50}）	1～20HzのG特性5%時間率音圧 レベル（L_{G5}）	参考となる値
1	浜松市浜名区三ヶ日町福長	78	85	L_{50}：90 L_{G5}：100
2	浜松市浜名区三ヶ日町日比沢	70	80	
3	浜松市浜名区三ヶ日町上尾奈	69	79	
4	湖西市大知波	73	81	
5	湖西市神座	71	80	

※1 予測は、計画交通量の発生が見込まれる時期である令和 22 年としました。
※2 予測地点は、高架区間のうち住居等の保全対象や交通条件により設定した断面における住居等の位置の地上 1.2m としました。

環境影響評価の結果の概要（水質（水の濁り））

パンフレットP17

切土工等又は既存の工作物の除去、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置

◆ 裸地等は転圧やビニールシートによる被覆等を行うとともに、法面は早期緑化に努め、裸地状態の短期化・縮小化を図ること、必要に応じて濁水の流出を防止する沈砂池等を設けること等により、濁水が周辺河川に及ぼす影響は極めて小さいと予測されます。

環境影響評価の結果の概要（地下水の水位）

パンフレットP18

掘削工事、トンネル工事の実施、道路(地下式)の存在

- 井戸における地下水位の低下はほとんど生じないと予測されます。
- 支流流量については、すべての地点で流量の低下が見られ、影響があると予測されますが、環境保全措置として「観測修正法による最適な工法の採用」を実施することにより、地下水の水位に関する影響の低減を図ります。

番号	地点名	地下水位[EL. m]			変化幅[m]
		工事前	工事中	供用後	
1	井戸-1	34.05	34.04	34.04	- 0.01
2	井戸-2	27.74	27.74	27.74	0.00
3	井戸-3	24.27	24.18	24.18	- 0.09
4	井戸-4	1.80	1.80	1.80	0.00

※ 工事前後の地下水位は解析値を示します。

番号	地点名	流量[L/min]			変化幅[L/min]	影響割合 (%)
		工事前	工事中	供用後		
5	支流-1	469.3	157.7	156.3	-313.0	67
6	支流-2	104.8	28.7	28.4	- 76.4	73
7	支流-3	658.4	547.4	539.6	-118.8	18
8	支流-4	106.4	67.8	65.4	-41.0	39

※1 工事前後の流量は解析値を示します。
※2 影響割合は工事前から供用後における変化割合を示します。

〔環境保全措置〕

観測修正法による最適な工法の採用

環境影響評価の結果の概要（河川）

パンフレットP18

掘削工事、トンネル工事の実施、道路(地下式)の存在

◆ トンネル周辺の河川について、一部の利水のある河川及び沢で流量の低下が見られ、影響があると予測されますが、環境保全措置として「トンネル湧水の河川及び水路への流入」「観測修正法による最適な工法の採用」を実施することにより、河川に関する影響の低減を図ります。

番号	河川名	流量[L/min]			変化幅 [L/min]	影響 割合(%)	利水(農業取水)
		工事前	工事中	供用後			
1	宇利山川	9,272.8	9,268.5	9,268.3	-4.5	0.05	取水あり
2	日比沢川	6,855.0	6,424.4	6,421.6	-433.4	6	取水なし
3	西神田川	1,975.8	1,621.9	1,610.6	-365.2	18	取水あり
4	カン寺川	202.3	199.2	196.6	-5.7	3	取水あり

※1 工事前後の流量は解析値を示します。
※2 影響割合は工事前から供用後における変化割合を示します。

番号	地点名	流量[L/min]			変化幅 [L/min]	影響 割合(%)	利水(農業用溜池)
		工事前	工事中	供用後			
5	沢1	51.2	21.7	21.4	-29.8	58	農業用溜池に流入あり
6	沢2	106.4	67.8	65.4	-41.0	39	農業用溜池に流入あり
7	沢3	4.5	3.7	3.7	-0.8	18	農業用溜池に流入あり

※1 工事前後の流量は解析値を示します。
※2 影響割合は工事前から供用後における変化割合を示します。沢の流量の低下を軽減させるためにトンネル湧水を沢及び水路に流入させることで、溜池に流入する流量を補完できると予測されます。

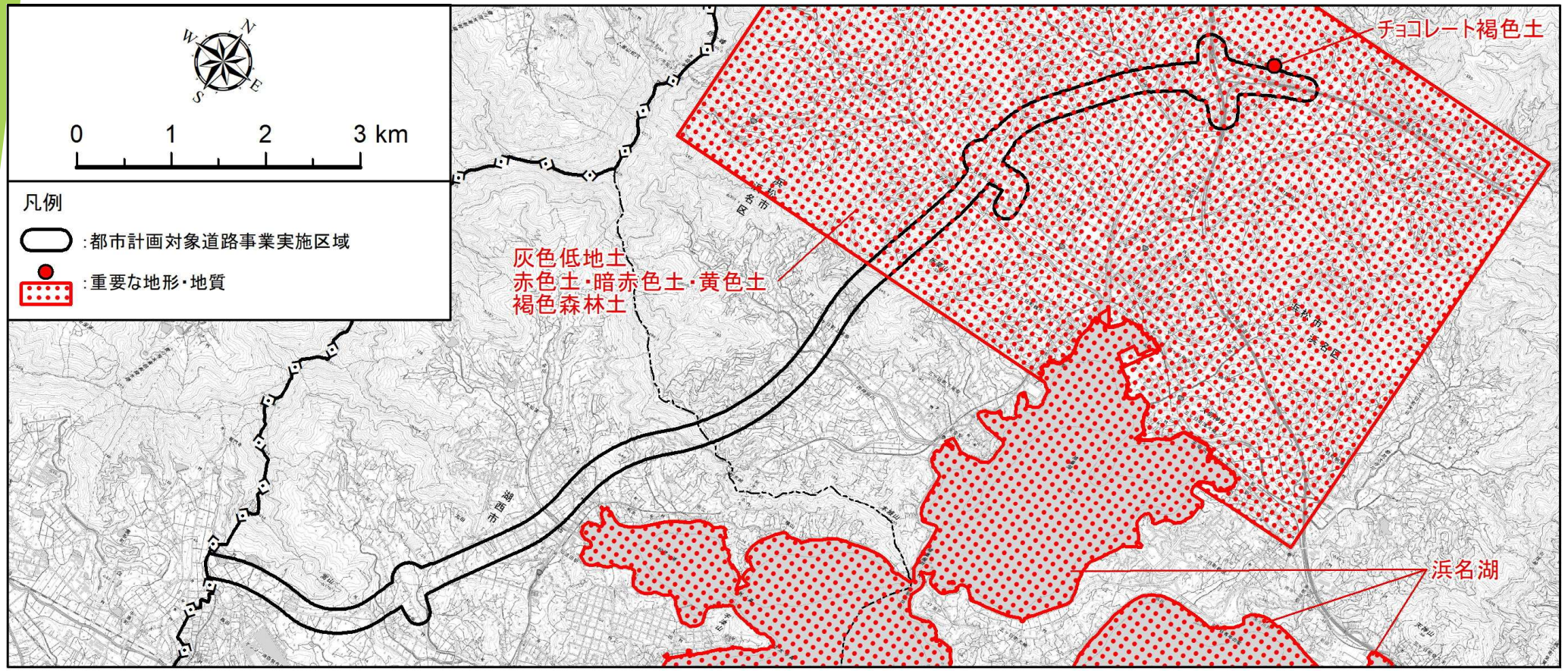
〔環境保全措置〕

トンネル湧水の河川及び水路への流入、観測修正法による最適な工法の採用

環境影響評価の結果の概要（地形及び地質）

パンフレットP10,19

工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、道路の存在



◆ 重要な地形及び地質のうち、「灰色低地土」「赤色土、暗赤色土、黄色土」「褐色森林土」の一部が事業実施区域と重なりますが、改変面積はわずかであり、影響は極めて小さいと予測されます。

環境影響評価の結果の概要（日照阻害）

道路（嵩上式（橋梁））の存在

- 道路(嵩上式(橋梁))の存在に係る日照阻害は、三ヶ日町福長の地点で参考となる値を超過する日影が生じると予測されますが、環境保全措置として「高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫」を実施することにより、日照阻害に関する影響の低減を図ります。
- また、必要に応じて「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」(昭和51年建設省計用発第4号)に基づき、適切に対処します。

番号	予測地点		予測高さ	高架構造物設置後の日影時間	参考となる値
1	浜松市浜名区 三ヶ日町福長	西側	1階 (地上1.5m)	4時間以上	1階で4時間
2	浜松市浜名区 三ヶ日町日比沢	西側	1階 (地上1.5m)	3時間未満	1階で4時間
3	湖西市大知波	西側	1階 (地上1.5m)	3時間未満	1階で4時間

※1 予測は、道路の設置が完了する時期の冬至日としました。
※2 対象道路の高架構造物に最も近接する住居位置における日影時間を示します。
※3 予測地点は、高架構造物と周辺地盤との高低差等により選定しました。

〔環境保全措置〕
高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫

パンフレットP20

工事の実施、道路の存在

- 現地調査により生息が確認された動物の重要な種138種(哺乳類9種、鳥類37種、両生類7種、爬虫類7種、魚類14種、昆虫類22種、底生動物20種、クモ類6種、陸産貝類16種)について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた解析を行いました。

項目	確認種数	重要な種
哺乳類	6目13科21種	キクガシラコウモリ、ノウサギ、ムササビ等9種
鳥類	17目43科117種	オシドリ、キンクロハジロ、ミゾゴイ等37種
両生類	2目6科12種	アカハライモリ、アズマヒキガエル、ツチガエル等7種
爬虫類	2目8科14種	ニホンイシガメ、クサガメ、ニホンスッポン等7種
魚類	7目16科44種	ニホンウナギ、カワムツ、タモロコ等14種
昆虫類	19目254科1,324種	オオゴキブリ、オオアメンボ、コオイムシ等22種
底生動物	34目118科293種	マルタニシ、タケノコカワニナ、タイコウチ等20種
クモ類	1目32科171種	ワスレナグモ、カネコトタテグモ、ニシキオニグモ等6種
陸産貝類	4目19科53種	ゴマオカタニシ、ミカワギセル、ヒメカサキビ等16種

環境影響評価の結果の概要（動物）

パンフレットP20

- 重要な種のうち、ハチクマ、フクロウ、アオハズクは、対象道路から営巣地が近いため、トウカイナガレホトケドジョウは、トンネル掘削により沢の流量が減少する可能性があるため、生息環境への影響があると予測されました。
- 環境保全措置として「改変の最小化」「工事工程の配慮及び段階的な土地の改変(コンディショニング)」「人工代替巣の設置」「個体の移殖」を実施することにより動物に関する影響の低減を図ります。



ハチクマ



フクロウ



アオバズク



トウカイナガレホトケドジョウ

〔環境保全措置〕

ハチクマ、フクロウ、アオバズク：改変の最小化、工事工程の配慮及び段階的な土地の改変（コンディショニング）、人工代替巣の設置

トウカイナガレホトケドジョウ：個体の移殖

環境影響評価の結果の概要（植物）

パンフレットP21

工事の実施、道路の存在

- 現地調査により生育が確認された植物の重要な種66種について、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた解析を行いました。

項目	確認種数	重要な種
植物相	157科 1,095種	マツバラン、エビネ、ハルザキヤツシロラン等の66種
植物群落	植物群落：17 土地利用等：7	—

- 重要な種のうち、エンシュウムヨウラン、シュンラン、ハスノハカズラは、生育環境の質的な変化により影響がある、または影響の程度は大きいと予測されました。
- 環境保全措置として「個体の監視」「林縁保護」を実施することにより植物に関する影響の低減を図ります。



エンシュウムヨウラン



シュンラン



ハスノハカズラ

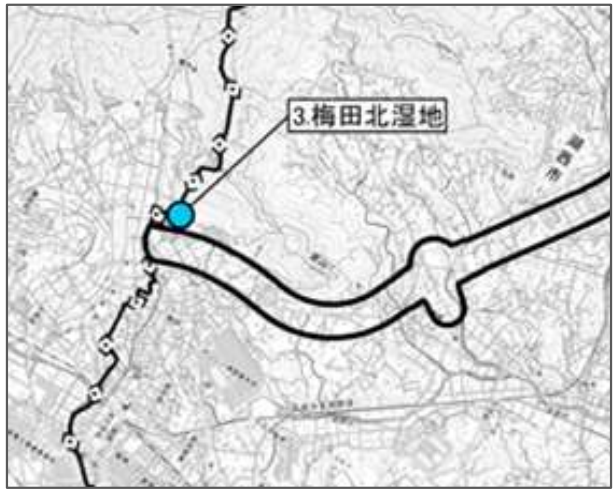
〔環境保全措置〕

エンシュウムヨウラン、シュンラン、ハスノハカズラ：個体の監視

エンシュウムヨウラン、シュンラン：林縁保護

工事の実施、道路の存在

- 生態系の注目種等について、生息・生育基盤の改変の程度を踏まえた解析を行いました。
- 地域を特徴づける生態系は、いずれの生態系区分も、事業による影響は極めて小さいと予測されます。
- なお、「山地一樹林主体の生態系」における特殊性の注目種として選定した、浜名湖周辺湧水湿地群(梅田北湿地)に生息・生育する注目種については、周辺にトンネル構造が計画されていないことから、地下水の変化による生息・生育基盤への質的変化はなく、生態系への影響はないと予測されます。



浜名湖湧水湿地群(梅田北湿地)の位置


ヒメタイコウチ


トウカイコモウセンゴケ

山地一樹林主体の生態系における特殊性の注目種

パンフレットP22

工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、道路の存在

- 対象道路によって改変を受ける主要な眺望点はありません。景観資源のうち「みかん畑」の一部は改変されますが、景観資源の価値を大きく損なうものではなく、影響は極めて小さいと予測されます。
- また、対象道路は丘陵地や市街地、耕作地に溶け込んでいるため、目立ちにくくなっており、スカイラインの切断も生じないことから、主要な眺望景観の変化は極めて小さいと予測されます。

高山ふれあいの森展望台からの眺望（みかん畑を望む）





環境影響評価の結果の概要（景観）

パンフレットP22

大知波峠廃寺跡からの眺望（浜名湖を望む）





ラクダ岩からの眺望（浜名湖を望む）





工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、道路の存在

- ほとんどの地点では、自然資源の改変や利用性・快適性の変化は生じず、影響はない、または極めて小さいと予測されました。

- 梅田親水公園については、公園内の道路から南方向に対象道路を視認でき、視距離が近傍であることから、快適性に影響が生じる可能性があると予測されましたが、環境保全措置として「構造物及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」を実施することにより、人と自然との触れ合いの活動の場に関する影響の低減を図ります。



梅田親水公園：休憩



梅田親水公園：登山

〔環境保全措置〕

構造物及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討、地形改変部（法面含む）の緑化

パンフレットP23

工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、道路の存在

◆ 有形文化財等についてはいずれも改変はなく、「トキワマンサク北限群生地」等の植物の天然記念物についても十分な離隔距離が確保されており、影響はないと予測されます。



トキワマンサク北限群生地

◆ 埋蔵文化財包蔵地については、「神座C古墳群」等の7件は、それぞれ一部が改変されると予測されることから、環境保全措置として「文化財保護法に基づく適切な措置」を実施することにより、文化財に関する影響の低減を図ります。

〔環境保全措置〕

文化財保護法に基づく適切な措置

パンフレットP24

切土工等又は既存の工作物の除去

- 建設発生土は1275.8千m^3、コンクリート塊は2.9千m^3、アスファルト・コンクリート塊は0.9千m^3 が発生し、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊については、発生量の全量を区域外へ搬出すると予測されますが、環境保全措置として「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」を実施することにより、廃棄物等に関する影響の低減を図ります。

〔環境保全措置〕

再資源化施設への搬入等による他事業等での利用

建設機械の稼働、工事用車両の運行

◆ 温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量は、工事期間において約25,359 tCO_2 と予測されますが、環境保全措置として「作業者に対する建設機械の省エネ運転の指導」「作業者に対する工事用車両のエコドライブの指導」を実施することにより、温室効果ガス等に関する影響の低減を図ります。

〔環境保全措置〕

作業者に対する建設機械の省エネ運転の指導、作業者に対する工事用車両のエコドライブの指導

事後調査－1

パンフレットP24

- 環境保全措置を実施する項目のうち、地下水の水位、河川については、地質構造及び影響範囲や、雨の流出特性に係る地質構造の推定には不確実性が考えられることから、事後調査を行います。
- また、動物については、環境保全措置の効果(繁殖・定着)に不確実性があることから、植物については、「林縁保護」の環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、事後調査を行います。

●地下水の水位

調査する情報	調査手法	調査地点	調査時期及び期間
地下水位の状況	地下水位の観測 湧水量の観測	準備書における現地調査で把握した井戸及び河川の支流	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間　(月1回)

●河川

調査する情報	調査手法	調査地点	調査時期及び期間
トンネル湧水の水量	現地観測	各トンネル	工事期間中及び工事完了後3年間 (月1回)
周辺河川の流量	現地観測	利水がある河川及び沢	工事前～工事期間中及び工事完了後3年間　(月1回)

事後調査-2

パンフレットP25

●動物

調査対象種	調査手法	調査地点	調査時期及び期間
鳥類（ﾊﾁｸﾏ）	定点調査、林内踏査	営巣地周辺	繁殖期間中の各月1回 工事前～工事期間中及び供用後3年程度
鳥類（ﾌｸﾛｳ、ｱｵﾊﾞｽﾞｸ）	定点調査、林内踏査	営巣地周辺	繁殖期間中の各月1回 工事前～工事期間中及び供用後3年程度
魚類（ﾄｳｶｲﾅｶﾞﾚﾎﾄｹﾄﾞｼﾞｮｳ）	沢の流量の現地観測	生息地の沢	毎月1回 工事前～工事期間中及び工事完了後3年程度
	直接観察及び採取	生息地の沢 及び移殖箇所	秋季に1回 工事前～工事期間中及び工事完了後3年程度

●植物

調査対象種	調査手法	調査地点	調査時期及び期間
林縁植生	林縁保護箇所における植生の遷移状況及び生育環境のモニタリング	林縁保護対象箇所	秋季に1回 直近工区の工事前～工事期間中及び工事終了後3年程度

●事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合には、関係機関と協議し、必要に応じて専門家等の指導・助言を得て追加調査等を行い、適切な措置を講じます。

●事後調査の結果の公表については、事業者が行うものとしますが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとします。

総合評価

パンフレットP25

- 本対象道路事業においては、対象道路のルート位置の検討段階から環境保全に配慮しており、各環境要素について事業予定者が実行可能な範囲内で環境保全措置を実施することにより、対象道路が周辺の環境に及ぼす影響についてできる限り回避又は低減が図られています。

- また、地下水の水位、河川、動物、植物については、専門家等の指導・助言を受けて事後調査を実施し、必要に応じて適切な措置を講じます。
  以上のことから、計画路線に係る環境の保全について適正な配慮がなされていると評価します。

- なお、今後の工事計画等の詳細な検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に十分配慮して行うものとします。さらに、工事中及び供用後において現段階で予測し得なかった環境保全上の問題が生じた場合には、関係法令に基づき、環境に及ぼす影響について調査し、必要に応じて適切な措置を実施することとします。